

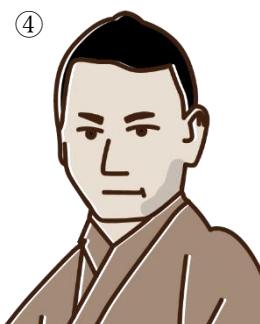
28回：不平等条約を改正せよ

赤（なみ線）は重要
青（ぼう線）は難関



幕末に結んだ日米和親条約や日米修好通商条約は不平等な条約でした。

まず、日本で罪を犯した外国人を、日本にいる外国の領事が自分の国の法律で裁判できる権利である、①_____を認めっていました。また、国が輸入品にかける関税の税率を自主的に決める権利である、②_____がありました。

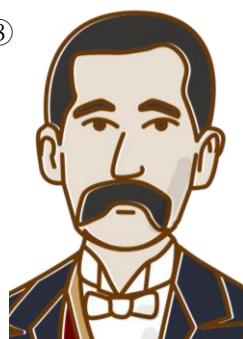


明治時代になると、日本は不平等な条約を改正しようと③_____を派遣して交渉をしましたが、失敗しました。④_____はヨーロッパのマネをする欧化政策をすすめて、⑤_____で舞踏会や音楽会をさかんに開きました（欧化政策）。しかし、イギリス人の船が沈んだときに日本人だけが全



員死亡するという⑥_____がおこりました。日本人の間に①の撤廃を求める声や、欧化政策への批判が高まったため、④は辞職しました。条約を改正するために、明治政府は欧米諸国のように経済を発展させて、

歐米諸国との植民地にならないように軍隊を強くしました。また、アジアで最初に憲法をつくりました。1894年、日清戦争の直前に、⑦_____が領事



裁判権を撤廃することに成功しました。その後、日露戦争にも勝利した後の1911年、外務大臣の⑧_____が、関税の自主権を完全に回復することに成功しました。

答え：①領事裁判権 ②関税の自主権 ③岩倉具視 ④井上馨 ⑤鹿鳴館 ⑥ノルマントン号事件

⑦陸奥宗光 ⑧小村寿太郎